学校番号	３１９

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報の科学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	情報の科学（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では単純にシステムエンジニアなどを育成するのではく、情報社会に関わる社会人を育成するのが目的です。というのも現代の社会では、情報システムに関わっていない仕事を探す方が難しいほど日常的に使われています。この授業をとおして、情報活用能力を高め、様々な場面で情報活用を円滑に行うことができるようになることを期待しています。

２　学習の到達目標

・目的に応じて、コンピュータを活用しさまざまな表現をすることができる。
・効果的なコミュニケーションを行うために、情報デザインの方法を学び適切に表現することができる。
・プログラミングにより問題の適切な解決方法を考えることができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報及び情報技術を活用し、情報社会の発展に主体的に寄与しようとする。	情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響及び身のまわりの問題を解決するために情報及び情報技術を活用することについて、科学的な考え方を生かし、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための技能を身につけ、効果的に活用している。	情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための知識を身につけ、情報社会を支える情報と情報技術の役割や影響を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 課題作品	学習状況の観察 ワークシートの記述 課題作品	学習状況の観察 課題作品 小テストの結果 実技テストの結果	学習状況の観察 ワークシートの記述 小テストの結果 実技テストの結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	コンピュータの仕組みと働き	1　コンピュータ 2　情報ネットワーク 3　データベース	○ ○ ○	 ○	○ ○	○ ○ ○	a:情報のディジタル化について関心がある。 b:ディジタル化の過程を論理的に考えることができ、2進数や10進数への変換をすることができる。 c:各演算処理を理解し、適切に作業を行うことができる。 d:コンピュータの仕組みと働きついて理解している。	授業観察 ワークシート 小テスト 実技テスト
2学期	問題解決とコンピュータの活用	1　基本的な考えと手順 2．モデル化とシミュレーション 3　処理手順の明確化と自動化	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	a:アルゴリズムや フローチャートに興味を持っている。 b:モデル化やシミュレーションについて考えることができている。 c:基本的なアルゴリズムの構造を理解し、それをもとにプログラムを作成することができる。 d:プログラムの仕組みや制御構造を理解している。	授業観察 ワークシート 小テスト 実技テスト
3学期	情報社会の科学的な理解	1　社会の情報科と人との関り 2　情報社会の安全 3これからの社会と情報モラル	○ ○ ○	○ ○ 	 ○	○ ○ 	a:情報社会の未来について積極的に考えようとしている。 b:情報社会の問題点とその対策について考えることができる。 c:情報社会の未来を考えるうえで適切な情報収集ができる。 d:情報モラルとマナー、ルールについて理解している。	授業観察 ワークシート 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。